

## ■ Newsweek International 特集記事の一部 (日本語訳)

日本の防災技術はガス警報器などもカバーしており、新コスモス電機やフィガロ技研などの企業によって、日本の優位な分野となっています。新コスモス電機が70%の市場シェアを占める日本では天然ガス警報器の使用が増加した結果、ガス爆発による死亡者は事実上排除されました。新コスモス電機の社長、高橋良典氏は、他の国々がそのようなマイルストーンに到達するのを支援したいと考えています。「私たちは、日本での経験を、それを最も必要としている国の他の場所でも再現できると感じています。実際、最近のデータによると、米国、英国、フランスなどの国々では、ガス爆発事故による死亡者がまだ多く、海外市場へのガス警報の提供に力を注いでいます。」

ガスセンサーとモジュールの専門メーカーとして、フィガロ技研はその研究開発に多額の投資を行い、最先端のMEMSセンサーを設計しました。「当社の電池駆動センサーは、ワイヤレスおよびポータブルデバイスで使用できます。そのために、新たな領域のさまざまな分野で小型化された製品を拡販していくことを期待しています」と社長の宇高利浩氏は語る。「将来を見据えて、私たちはオープンイノベーションに興味を持っており、国内だけでなく海外の企業、特にスタートアップと協力しています。私たちのコア技術を彼らのコア技術と統合して革新的なものを生み出すことで、ビジネスモデルを変えることができるパートナーを探しています。」